

第44回 和木町古墳祭

8月2日(土)・3日(日)

魂を呼び覚ます
炎の行列



甦る古代の魂

江田船山古墳が文化財に指定されたのをきっかけに昭和46年から始まった古墳祭は今年で第44回目の開催となります。

くまもと夏の三大火祭りと呼ばれる和木町古墳祭の炎の宴では火祭りの象徴、女性呪術士「火巫女」の祈りと舞が奉納され、古代衣装を身にまとった総勢800人が、松明を片手に勇壮かつ幻想的に練り歩き、江田船山古墳の主であります「ムリテ」が復活します。

勇壮なムリテの舞が行われると祭りは最高潮となり幻想なる炎の列は主の復活を祝い悠久の時を私達に伝え、郷土の歴史と誇りを呼び覚ますのです。



ムリテと火巫女

古墳祭を盛り上げる第30代火巫女に、坂本佑衣(さかもとゆうい)さん(久井原)が選ばれました。「子どものころからの憧れであった火巫女になり、大好きな故郷をPRしたい」と意気込みを語っていただきました。

また、「江田船山古墳」の主であったと推察されている地方豪族「ムリテ」として、昨年に引き続き木部礼一(きべれいち)さん(焼米)にご活躍いただきます。

松明行列参加者募集

総勢800人の松明行列は毎年参加者が少なくなっています。くまもと夏の三大火祭りと呼ばれる「和木町古墳祭」を盛り上げ、松明行列への一致団結した参加を広く募集しています。

光のオブジェ制作参加者募集

夏休みの思い出づくりに、古墳祭のシンボルを親子で一緒に制作しませんか？

古墳祭企画委員会では、町民の皆さんに「古墳祭に参加してよかった」と思ってもらえるよう、皆さんの手で作り上げた光のオブジェを祭りのシンボルとして、古墳祭を盛り上げたいと考えています。制作するオブジェは世界で活躍されている和木町在住の木彫作家、上妻利弘(こうずまとしひろ)さん(板橋)にデザインしていただきます。子どもたちの一生の思い出となるオブジェ作りに大勢のご参加をお待ちしています。



光のオブジェ完成予想図

竹を組み上げ、アーチを作ります。子どもと一緒に保護者の人も楽しめる様に準備します。

とき 7月20日 日曜日

午前8時〜11時

ところ 江田船山古墳公園内

問い合わせ先 本庁 経済課
☎0968・86・5725

- ・古墳祭写真コンテスト開催
 - ・古墳祭ビアガーデン(商工会青年部)
 - ・ちびっ子夜店市(子どものための出店)
 - ・盆踊り参加者へ、感謝のお楽しみ抽選会
 - ・会場直通シャトルバス運営(3日のみ)
 - ・光のオブジェ展示
- ★運営協力ボランティア募集中です



8月2日(土) 古墳祭前夜祭

- 8:00 ペーロン大会
- 9:00 古墳祭中学生バドミントン大会
- 17:00 ビアガーデンオープン
- 18:30 前夜祭開会のあいさつ
- 18:35 船山太鼓
- 18:50 コーラス
- 19:00 なごみ囃子
- 19:10 米渡尾ひゅうたんまわし
- 19:15 ひよっとこ踊り
- 19:25 八つの神様音頭
- 19:35 三加和音頭
- 19:45 きくすい音頭
- 20:00 お楽しみ抽選会
- 20:30 ビアガーデンステージイベント

8月3日(日) 古墳祭

- 17:45 採火式
- 18:00 神事
- 18:30 奉納の舞
- 18:40 浦安の舞
- 19:00 松明行列集合
- 19:40 松明行列出発
- 19:55 松明行列入場
- 20:00 古墳踊り
- 20:15 火巫女の舞
- 20:20 ムリテの舞
- 20:30 花火大会